

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年7月12日(2018.7.12)

【公表番号】特表2015-532772(P2015-532772A)

【公表日】平成27年11月12日(2015.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2015-070

【出願番号】特願2015-529173(P2015-529173)

【国際特許分類】

H 0 5 B 37/02 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 37/02 D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スペースのサブエリアにおける対象物の存在を検出するための存在検出器の動作の方法であって、前記方法は、

前記スペースの別のサブエリアにおける対象物の存在を検出するための別の存在検出器から送信される第 1 波信号の特性パラメータを第 1 タイムスロットにおいて監視するステップと、

前記第 1 波信号の監視される前記特性パラメータの前記別のサブエリアにおける対象物の存在を示す変更が検出されると、制御信号を送信するステップとを有する方法。

【請求項 2】

前記制御信号は、前記第 1 波信号の変更された特性パラメータに基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の存在検出器の動作の方法であって、前記方法は、

第 2 波信号のエコーに基づいて対象物の存在を検出するため第 2 タイムスロットにおいて前記第 2 波信号を当該存在検出器から送信するステップと、

対象物の存在が検出された場合、前記第 2 波信号の特性パラメータを変更するステップとを更に有する、方法。

【請求項 4】

前記第 2 波信号の前記特性パラメータを変更する前記ステップは、前記第 2 波信号の第 1 特性パラメータを第 2 特性パラメータに変更するステップを有し、前記第 2 波信号は、前記変更後、前記第 2 特性パラメータで送信される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 2 波信号を前記第 2 特性パラメータで送信することは、前記第 2 タイムスロットの通信サブスロットにおいて行われる、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 2 波信号のエコーに基づいて存在を検出するための前記第 2 波信号を前記第 1 特性パラメータで送信することは、前記通信サブスロットからオフセットされ、前記通信サ

ブスロットより前の前記第 2 タイムスロットの存在検出サブスロットにおいて行われる、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 2 タイムスロットは、繰り返され、前記第 2 波信号を前記第 2 特性パラメータで送信することは、繰り返される第 2 タイムスロットにおいて行われる、請求項 4 乃至 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 2 タイムスロットは、周期的に又はタイムスケジュールに従って繰り返される、請求項 3 乃至 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 2 波信号の前記特性パラメータは、前記第 2 波信号の周波数、パルス長、パルスの数、及び振幅の少なくとも 1 つである、請求項 3 乃至 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

スペースのサブエリアにおける対象物の存在を検出するための存在検出器の動作の方法であって、前記方法は、

前記スペースの別のサブエリアにおける対象物の存在を検出するための別の存在検出器から送信される第 1 波信号の特性パラメータを第 1 タイムスロットにおいて監視するステップと、前記別のサブエリアにおける対象物が検出された場合、

検出された対象物によって行われるアクティビティのタイプを決定するステップと

、

前記決定されたアクティビティのタイプに基づいて、所定の特性パラメータのセットから特性パラメータを選択するステップと、

前記第 1 波信号の前記特性パラメータを選択された前記特性パラメータに変更するステップと

前記第 1 波信号の監視される前記特性パラメータの変更が検出されると、制御信号を送信するステップとを有する、方法。

【請求項 11】

スペースのサブエリアにおける対象物の存在を検出するための存在検出器であって、前記スペースの別のサブエリアにおける対象物の存在を検出するための別の存在検出器から送信される第 1 波信号の特性パラメータを第 1 タイムスロットにおいて監視し、前記第 1 波信号の監視される前記特性パラメータの前記別のサブエリアにおける対象物の存在を示す変更が検出されると、制御信号を送信する監視ユニットを有する、存在検出器。

【請求項 12】

第 2 波信号のエコーに基づいて対象物の存在を検出するための前記第 2 波信号を第 2 タイムスロットにおいて送信し、対象物の存在が検出された場合、前記第 2 波信号の特性パラメータを変更する存在検出ユニットを有する、請求項 11 に記載の存在検出器。

【請求項 13】

照明システムであって、

照明デバイスと、

請求項 11 又は 12 に記載の存在検出器と

を有し、

前記照明デバイスは、前記存在検出器によって送信される制御信号に基づいて制御される、照明システム。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0028

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0028】

本発明の実施形態によれば、第 1 波信号の特性パラメータは（及び第 2 波信号の特性パ

ラメータも)、第1波信号の周波数、パルス長、パルスの数、及び振幅の少なくとも1つであってもよい。波信号は、存在情報を伝達するために任意の適切なやり方で変更(変調)されてもよい。(存在検出器によって検出された)存在は、例えば波信号の、周波数、パルス長、(例えば1パースト内の)パルスの数、及び/又は振幅を1つの値から別の値へとシフトすることによって通信されてもよい。存在が検出された場合に(例えば周波数及び/又は振幅に関して)特定のパターンに従って波信号を変調するなど、より複雑な技術も予想される。